# 学力up！ 登小キッズ！

第６号　令和５年 12 月 22 日　　登別小学校　教務部研修係

# 後期家庭学習週間が終わりました

今回は、１１月に行った家庭学習強化週間集計結果とそこから浮かび上がった考察をお知らせいたします。今後の学習への糸口になればと考えております。ご覧ください。

## ★　登別小学校6月の家庭学習強化週間取組状況　★

家庭学習強化週間（6月26日～30日）集計結果（平日のみ集計）

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 取組率 | 76.7% | 86% | 88% | 80.7% | 96.2% | 98.5% |
| 取組時間 | | | 22.4分 | 27.1分 | 44.2分 | 62.9分 |

## ★　登別小学校11月の家庭学習強化週間取組状況　★

家庭学習強化週間（11月13日～19日）集計結果(土日を含める集計)

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 取組率(クラス) | 91.4% | 95.5% | 70.5% | 75.9% | 72.8% | 67.7% |
| 取組時間 | 22.8分 | 30.4分 | 29.1分 | 49分 | 47.7分 | 79.8分 |
| 目標（個人の取組率90%を超えた人数） | 70%<br>14人 | 70.4%<br>19人 | 46.7%<br>7人 | 33.3%<br>8人 | 17.4%<br>4人 | 21.4%<br>3人 |

### 集計結果から見えてきた「〇良い点、●課題点」

〇前期の強化週間と比べて、学習時間が全学年増加している。
〇低学年の学級の取組率が目標の９０％を超えている。
〇休日にも取り組めている学年がある。
●中学年以上では、個人の取組率目標の９０％に達している人数が少なくなっている。

考察へ

## 「考察」

家庭学習については、提出率９０％以上を目指して取り組んでおり、廊下や教室内に家庭学習ノートや普段の授業のノートを掲示して取り組み方を紹介するなどして、子どもたちの意欲を後押ししています。今回は、前回の６月の強化週間とは違い、休日も含めて集計、目標９０％を超えている人数の集計をしております。以前にもお伝えしましたが、児童それぞれが自分にとって必要な学習を見つけられたり、自己調整を図っていけるようになるために新・家庭学習チェックシートを用いて、家庭学習の質の向上を図っています。

左の表から見てわかる通り、家庭学習に取り組む児童の平均取組率が、９０％を達成できた学年がありました。学習が進むにつれ、学習への意欲や学習への積極性を高めた結果といえます。また、取組率が下がっている学年については、週末も含めた取組に対する負担や、学年が上がるにつれて生じる学習内容の難易度の上昇が影響している可能性があります。しかし、前回と比べ取組率が増加していることから、休日にもかかさず学習を行っている児童や、逆に休日は学習に取り組むことができなかった分、平日の取組に力を入れて行う児童もいる可能性があることがわかります。強化週間を意識し、土日も含めて継続的に学習のめあてを立てて行っている様子がうかがえました。

取組時間はどの学年も増加している結果となりました。新しい取組が学習への関心を高め、より深い学習に時間を割くようになった、取り組めなかった日の分を考えて時間を多めに取り組んだ児童がいることがうかがえました。これは、自己調整する力が身に付きつつある証拠であるともいえます。以上を踏まえて、今後の具体的な対策は、

## 「今後の具体的な対策」

〇低学年の学習習慣の定着～新しい取組による低学年の学習意欲の向上を維持し、習慣化を促していきます。
〇高学年の学習サポート強化～高学年に対するより具体的な指導を行い、学習の自己管理能力を高めます。

高学年の学習サポート強化をするために、より具体的な方法として以下の４つがあげられます。

①学習目標設定のサポート～教師や保護者の皆様が子どもたちと一緒に学習のめあての設定のお手伝いをし、児童が自分自身の学習のめあてを設定するサポートをお願いします。そのため、週末のタブレット持ち帰りの際に、児童の実態によって一緒にめあてや振り返りをしていただけると、児童も励みになると思います。いつもありがとうございます。今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。

②学習の現状の確認と振り返り～学習の現状を確認し、定期的に一週間に一度の持ち帰りのタイミングで行うことで、自己評価の力を育てます。

③問題解決の学習サポート～学習上の中で困った問題が生じた際には、それらを解決するための学習サポートをお願いします。

④学習環境の整備～学習の間はテレビや PC、スマホから離れるなど、家庭での学習環境を整え、集中出来る環境を作るなどがあります。しかし、高学年になるにつれて、動画サービスや SNS に触れる時間、オンラインで友達とつながる時間が増加する傾向があります。このことが原因で、学習時間や集中力に影響を及ぼす可能性があります。デジタルメディアの健全な使用について考え、生活時間のマネジメントをしていくことも重要です。ご協力ください。

今回の結果を活かし、家庭学習の取組の定着させることができるよう、学校でも工夫していきたいと思います。家庭学習は、学習の基礎的な力を確実に身に付けることや、自ら学習をする習慣、学習方法を身に付けるため必要な役割をもつ取組です。「継続は力なり」と考え、子どもたちの地道な取組や努力を認めていきたいと思います。取組が定着できるように、これからもご家庭での声掛けをよろしくお願いいたします。

**裏には冬休みを過ごす上で大切にしていただきたい項目があります。お子さんと一緒にご覧ください。**

# 「冬休みにやってみよう！」

さて、明日から冬休みです。学校から離れ、家庭で過ごす大事な期間です。苦手な科目の復習をしたり、家族とゆったりとした時間を過ごしたりするなど、充実した長期休業にしてほしいと思います。

以下に、冬休みを過ごす上で、大事であると考えている内容を載せています。親子で一緒に読んでいただき、冬休みの約束や計画の参考にしていただければ幸いです。

**１） ２学期の学習をふり返ろう**

・各学年で出されている宿題に、計画的に取り組みましょう。

・漢字や計算など、繰り返し練習すると覚えられるもの、素早くできるようになるものは、継続して取り組みましょう。

**２） 家庭だからこそできる活動をしよう！**

・読書や植物のお世話、家のお手伝いなど、普段なかなかできないことにも取り組みましょう。

**３） 自律的に過ごそう！**

・冬休みはどうしても生活リズムが乱れがちになります。規則正しい生活を送ることができるように、「学習は午前中にする。午後は外や家の中で、風邪に気を付けて」など、ご家庭で約束を決めましょう。また、テレビ視聴やゲームの時間についても、ご家庭での約束を親子で話し合いルールの下で楽しむようにしましょう。